

光陰矢の如しの言葉通り、前回 No.2 を書いてから早くも一月過ぎました。でも、この年になるとついつい嫌なことも連想しちゃいます。つまり、「光陰矢の如し」というからには、「老い来る早さも矢の如し」かと勘繰っちゃうんですね。確かに最近、我が身に迫る老いの早さには驚くことが多いのです。

なんて「老いの繰り言」はこの辺で止めて、今月の Photo World に移りましょう。今月、5月のへぼ写真の数々です。ご笑覧を。



まずは植物。5月の半ばに仲間と甲府の淡雪山周辺を散策した時、林の中にこんな群落を見つけました。ご覧の通り、サクラソウとスズランの混生。スゴイな、と思わずシャッターを切りましたが、どう考えてもやや不自然。そのうち判ったのはこれ、近くの植物好きさんが植えて育てたものだったのです。うん、それなら判る、キレイ、キレイ。すぐ横にはなんとエビネの群落まであって、見事な一画でした。この日はヤマツツジやウツギ、トチノキ、ヤマボウシなどシーズンの花がいっぱい咲いてました。



今月のチョウはこれにしましょう。お判りですか？ 昔のチョウ屋なら迷わず「キマダラヒカゲ！」と言う所ですが…。これ、今や「サトキマダラヒカゲ」と言うことになっちゃってるんです。われわれが現役のチョウ採りだったころは十把一絡げで「キマダラヒカゲ」と言っていたものを、その後研究が進んで、「サトキマダラヒカゲ」と「ヤマキマダラヒカゲ」の2種に分かれちゃったんだそうです。これは埼玉の滑川町の武蔵丘陵森林公園で撮ったものです。明らかに「サトキマダラヒカゲ」です。区別点は翅裏面の斑紋の状況だそうです。

この日はその他、ルリタテハの幼虫を見つけたり、シライトソウの大群落に感動したりしました。



続いてはツバメ、それも赤ちゃんツバメの5兄弟。これは上述の森林公園駅で駅舎の天井に巣食ったものです。可愛いですね。4兄弟なら、「ダークダックスならぬダークスワローズ」じゃな、とダジャレたかったのですが、よく見ると5匹並んでました。



ト리는鳥ではなく、怪物?! この写真、実は新幹線の座席で撮ったものです。前の席にこんな無毛の怪人が座ってた? のではなくて、座席の端っこにいわゆる捕まり棒、とでもいうのか、こんなものがついてるんです。見れば見るほど、似て来ませんか? なんと、耳まで付いてるぞ。

これ又先日、所用で京都まで出かけた時、新幹線に座ってて発見しました。まさに「ご笑覧下さい」ですね。

これ見て創った駄川柳、「いと可笑し新幹線の禿頭車」。

と言った所で今月はお終い。おあとがよろしいようで…。

皆様からのお便りをお待ちしております。下記アドレスへどうぞ。 haradah@rapid.ocn.ne.jp

(2017年5月25日 大手前4回生 原田浩 記)